

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築（簡易版）2010年版
CASBEE-新築（簡易版）2010年追補版（BEI対応）
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

1. 建物概要

建物名称	タンレイ工業(株) 旋削棟	
建設地	北区 -	
用途地域	準工業地域	
建物用途	工場,	
竣工年	2017年8月 予定	
敷地面積	52,994.28 m ²	
建築面積	2,179.46 m ²	
延床面積	2,306.98 m ²	
階数	地上2F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2017年3月1日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{40.4}{39.9} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	2.0		バリアフリー	1.0
			維持管理	2.0
			更新性	3.1
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.1		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.2
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	-
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.7		節水	4.0
			リサイクル材の使用	3.0
			再利用可能性向上	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.5		生物環境の保全・創出	2.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	2.5		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	2.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。

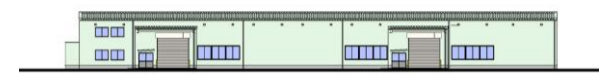
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE[®]新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	タンレイ工業(株) 旋削棟	階数	地上2F
建設地	新潟県新潟市北区	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	33 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年8月 予定	評価の実施日	2017年3月1日
敷地面積	52,994 m ²	作成者	杉澤 毅
建築面積	2,179 m ²	確認日	2017年3月1日
延床面積	2,307 m ²	確認者	〇〇〇



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 93%
③上記+②以外の 93%
④上記+ 93%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	工場としての機能を優先させながら、高寿命化を考慮し構造材の高強度材料を採用している。将来の機械配置変更や、機械の変更に対応できるように、床の設計を行った。また作業環境を考慮して、室内環境も検討した。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
対象外	ゆとりのある空間を創造、ゆったりとしたスペースの確保	敷地周辺に緑地帯を設けることで周辺と調和を図るとともに環境負荷の低減を図る。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
工場の性質上、自然採光は室温環境の変化をもたらすので、最小限にとどめた。	節水タイプの器具を採用している。また構造使用材料の強度をUPすることで、建物の高寿命化を計った。また、出来る限り再生材を検討し、RCクラッシャーを採用、またOAフロアの採用による将来対応を考慮した。	夏場の風の通り抜け、地表面の被服材を検討するとともに、十分な駐車場、ゆとりのある場内通路を計画している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される